

ふるさと おも ちやくじつ 郷土の想いを着実に

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東3条北7丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

北口雄幸道議、「新春の集い」で成果を報告!

500名が来場

「北口雄幸道議と語る新春の集い」が、2月6日土別グランドホテルで500名の皆さんにご参加いただき、盛会に開催されました。まず、小貫会長が主催者を代表して挨拶。その後、来賓としてお越しいただいた佐々木隆博代議士、坂口収上川支庁長から激励のご挨拶をいただき、多くの仲間の道議から祝電も届き、



お礼のご挨拶

2月6日に開催いたしました、「北口雄幸と語る新春の集い」に際し、多くの皆さんのご参加をいただき、無事終了することができました。心からお礼を申し上げます。

また、恒例の野外で行われる「青空の集い」は、7月18日(土)に予定しており、多数の皆様のご来場をお待ちしております。

今度とも変わらぬご支援をいただきますようお願いし、お礼と致します。

士別市後援会長 小貫勝太郎
北海道議会議員 北口 雄幸

取組成果を報告

北口道議の活動の幅広さが伺えました。

松岡恭子後援会婦人部長、道北歌謡研究会から花束を受けた北口道議は、「一昨年4月の当選以来、この地方が元気になるよう活動してきた。福祉灯油の増額や地

北口道議ともいふふるさと再生へ



2005年9月、温かいふるさとの皆さんのお力をいた

だき、国会で仕事をしようになつてから3年半が経過いたしました。

この間、私の政治の原点は、常に「現場」であり、「生活者」であり、「ふるさと」であります。しかし、今の自民党政府は、この原点を忘れていようであります。

政治は、誰のためか、何の

めるための医療を守る」と、決意を新たにした道政報告が行われました。

その後の鏡開きでは、各界の代表の皆さんとともに「今年1年の発展」を誓い合い、岡田久俊士別市議会議長の乾杯で祝宴に入り、木村峰行道議(旭川市)、鈴木宗男代議士の秘書である五十嵐さんからメッセージをいただき、締めは中田賢士別市自治連会長の三本締めで集いを閉会しました。

ためかを忘れてはいけません。私は、常に皆さんの想いを抱きながら今後も活動を続けていきたいと思っております。

今の任期は9月までしかなく、半年を切りましたが、残された期間を全力で頑張りたい。再び国会でふるさとの想いが訴えられるよつ、決意を新たにしているところです。「故郷」を人一倍愛する北口道議と共にふるさと再生へ全力を尽くします。

衆議院議員 佐々木隆博

第一回定例道議会報告(2月24日~3月31日)

平成21年第1回定例道議会は、2月24日から3月31日までの36日間の日程で開会されました。当初は、25日が会期末でしたが、支庁制度改革などの議論で、年度末ギリギリまでの審議となりました。

今定例議会では、平成21年度の道予算をはじめ、悪化する雇用対策や一度も施行しないまま改正しようとする「支庁制度改革」、地域医療の確保など、重要な課題が山積する議会でもありました。

民主党・道民連合は、代表質問、一般質問を通じて、当面する道政課題などの取

北口道議、予算特別委員会等で

林業と農業、地域振興を質問

北口道議は、21年度の予算を審議する予算特別委員会において、水産林務部に對し、林業振興について、農政部に対しては、新たな食料・農業・農村基本計画、農家の経営安定化対策、担い手対策、耕作放棄地の実態調査、夢と

組状況について、高橋知事の考えを質しました。また、平成21年度の予算案は、原案どおりの一般会計2兆8763億円を可決しました。

希望を持てる農業政策、などについて質問しました。また、支庁制度改革と一緒に追加提案された「北海道地域振興条例案」を付託された総合企画委員会での審議では、地域振興条例の位置づけ、特定地域の位置づけ、特定地域の規定、道内の過疎地域の実態、地域振興策の具体的手法、特区等を活用した地域振興策、などについて道の考えを質しました。

混迷の末に修正可決

今議会が大幅延長を余儀なくされたのは、支庁見直しをめぐる知事の対応が原因でした。

昨年6月の第2回定例会で強行提案・可決して以来9ヶ月にわたつての混乱を経て、道内地方四団体と今定例会会期中に協議を重ね、条例を一度も施行しないまま内容を大幅に変更し、実質的に現行の14支庁体制を維持する条例修正案が提案されました。

また、地域振興条例案についても、地方四団体との協議で、振興局地域の振興策部分を削除して提案され、修正検討の段階から、知事与党の自民党派との調整等で、議会運営は空転を重ね、我が会派は、今回の修正が地方四団体との合意に基づいて修正されたとの観点から、両条例に賛成しました。

議員提案で2条例可決

今回の定例会で、民主党・道民連合会派が昨年6月の議会に提出し継続審議となつていた「北海道地球温暖化防止対策条例」及び「北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者

及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例」が、それぞれ可決しました。

採択された決議・意見書

支庁制度改革に関する決議 雇用対策の充実・強化とセーフティーネットの拡充を求める意見書 地域医療の確保と公的医療機関等の安定経営を求める意見書 不採算地区病院の適用要件の改正に伴う激変緩和のための経過措置を要望する意見書 肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書 タクシー分野の規制緩和路線の抜本見直しを求める意見書 「協働労働の労働組合法」の速やかな制定を求める意見書 「緑の社会」への構造改革を求める意見書 福祉・介護における人材確保対策の充実を求める意見書 「混合型血管奇形」の難病指定を求める意見書 2010年APFC分野別担当大臣会合の北海道開催を求める意見書



予算特別委員会で農業振興を質問する北口道議(3月24日)

写真で振り返る北口道議の活動記録(1月~3月)



あかしや老人クラブ新年会(1/19)



土別市議会議員の皆さんと意見交換(1/14)



菅直人民主党代表代行と握手(2/1)



牧野勇司土別市議「新年交礼会」(1/30)



下川地区連合会「旗開き」(2/10)



全日本スノーモビル和寒大会(2/8)



駅南自治会ミニ雪まつり(2/22)



鈴木宗男代議士「新春の集い」(2/8)



春山トレッキング(3/21)
温根別冬まつり(3/15)



北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kitaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋してご紹介いたします。(1月～3月分)

1月4日【新春街宣】

早朝9時に自宅を出発。佐々木隆博代議士とともに、朝日町、下川町、美深町へ新春街宣活動を行い、2009年の年頭にあたつての決意と道政国政報告をさせていただきます。自宅を出発してから、朝日町の伊藤隆雄市議に電話すると、現地で多くの皆さんにご連絡をさせていただき、早朝で寒い中、



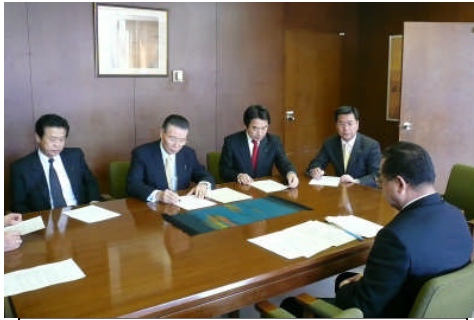
佐々木代議士と雪の中の新春街宣

13名もの皆さんが駆けつけ

激励とお話しを聞いていただいた。真冬の街宣だけでも寒いと思うのだが、静かに聞いていただき、ただただ感謝である。集まっていたいただいた皆さんのためにも、来るべき総選挙は絶対に負けられないと、佐々木代議士とお話し、決意を新たにしたいところだ。

2月4日【丸井今井の件で知事に要請】

先日1月29日に丸井今井が民事再生法



会派として嵐田副知事に要請

の手続きを開始したことにより、雇用や地域経済に対する影響が大きいため、民主党・道民連合として、緊急に知事(嵐田副知事代理)に対して要請行動を行

った。(要請文は省略)

2月12日【北海道農連定期総会】

北海道農民連盟(山田富士雄委員長)の第36回定期総会が札幌市内のホテルで開催され、私も参加させていただいた。冒頭山田委員長がご挨拶に立ち「昨年豊作であったが、飼料や肥料対策の一年だった。特に肥料対策は今年度限りの単年度の対策であり、今後の政策に組み込んでいく必要がある。道農連は昨年暮れ、真の農政改革について提言させてもらった。持続可能な農業政策をめざして頑張ろう」とお話しされ、引き続き山本副知事、道議会を代表し大谷農政委



総会で挨拶する山田道農連委員長

員長、鉢呂北海道民主党代表などの来賓挨拶があり、私もご紹介いただいた。今年の総会は、政権交代をかけた闘いの基点となる大事な総会である。担い手の皆さんが夢と希望をもって農業を続け、持続できる農業政策をめざす総会となつてほしい。

3月7日【当麻後援会・春の集い】

北口雄幸当麻後援会(千葉幸雄会長)の春の



当麻後援会「春の集い」での道政報告

集いが開催され、地元の小貫会長、木内事務局長とともに参加させていただいた。吹雪で厳しいお天気にもかかわらず、30名以上の皆さんが集まり、私に対する激励をいただいた。そして

来賓として佐々木隆博代議士も駆けつけてくれ、当麻の皆さんと親しく懇談をされた。当麻後援会は、私が当選して間もなく設立していただき、士別で開催した新春の集いや青空の集いにも多くの皆さんが駆けつけてくれ、力強いご支援をいただいている。これからも皆さんのご期待を裏切らないように、自分を律しながらまじめに議会活動を続けていきたい。

【つづいて】

先日の議会で長年の懸案だった支庁制度改革が成立した。しかし、地域への事前説明や相談が不足し、議論は混迷を極めた。つくづく感じるのだが、何か問題が発生すると、正確な情報の収集と迅速な対応が必要だ。ところが、今回の道の混迷をみていると、それが不十分だったのではと感じる。高橋知事の指導性とあわせ、側近が正確に地域の想いを伝えていたのか。いずれにしても、道民の幸せのため、心をひとつにして取り組んでほしいものだ。(ゆうこう)